

日本学術会議社会学委員会:価値とイノベーションの創発による福祉システム検討分科会
(第26期・第1回) 議事録

日 時：2024年3月30日(土) 13時00分～15時00分

場 所：東洋大学白山キャンパス 1310 教室及びオンライン会議システム併用のハイブリッド開催

出席者：広井良典 和気純子 熊谷晋一郎 秋元美世 岩崎晋也 大和三重 金子光一
木下武徳 空閑浩人 住居広士 竹本与志人 永田祐 原田正樹 保正友子
持丸正明 山田あすか 湯澤直美 (17名)

欠席者：岩永理恵 木原活信 権藤恭之 山野則子 (4名)

記 録：木下武徳

<議題>

1. 自己紹介

参加者各自の所属と研究分野、研究関心等について自己紹介を行った。

2. 役員の選出について

以下の通り、役員を選出した。

委員長 : 和気純子
副委員長 : 金子光一
幹事 : 木下武徳 永田祐

3. 2024年度の活動計画について

1) 本分科会のテーマの設定について

- ・本分科会の設置の目的として「(…中略…) 新たな福祉システムの開発や実践の展開に必要な理念や価値の検討をふまえて、情報通信技術や人口知能などを含めたテクノロジーを活用・融合する、イノベーションの創発による福祉システムの構築が求められている。本分科会は、上記の課題について、一部・二部・三部の枠を超え議論する」を確認した。
- ・福祉におけるテクノロジーの関わりや影響等を検討する点で関心を共有した。
- ・社会福祉における普遍的な価値をふまえて、テクノロジーによる価値の発展や共創も検討対象になることを確認した。

2) 本分科会の進め方について

- ・分科会の期間が2年半である。ここでの議論を広く社会に公開にして一般市民に向けても普及啓発をしていく機能を果たしていく。
- ・東洋大学では、福祉社会における新たな価値の創造と支援システムの構築のための理論的研究、実践的研究、ロボット開発という3つのプロジェクトをしており、参考になる。
- ・本分科会でもテーマに関連するユニットやグループを組んで検討を進める方法も考えられる。
- ・次回は7月に開催し、まずは、社会福祉学以外の領域の委員にそれぞれの分野から社会福祉におけるテクノロジーやそれによるイノベーションや価値の創造等について問題提起をしてもらえないか。
- ・それをふまえて、テーマ設定をし、ユニットやグループを設定して検討してはどうか。
- ・次回委員会：2024年7月頃を予定、メールで日程調整する。

以上